

学校生活における新型コロナウイルス感染症対策およびマスクの着用について

保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じます。また本市の学校教育に対するご理解とご協力をいただき心から感謝申し上げます。

さて、報道でもありましたとおり、文部科学省および厚生労働省から、マスク着用の考え方や新型コロナウイルス感染症対策の基本方針について事務連絡がありました。

つきましては、小中学校においては下記に示す対応を行い、熱中症と感染対策の両立を図りながら教育活動をおこなってまいります。

学校では、子どもたちの発達段階に応じて、熱中症対策および新型コロナウイルス感染症対策について、指導いたしますが、ご家庭でもお子様と対応について話し合ってくださいますようお願いいたします。

記

1 感染症対策の基本方針（継続）

- (1) 「三つの密」を避ける ・密閉空間 ・密集場所 ・密接場所
- (2) 「人と人の距離の確保」 (3) 「マスクの着用」
- (4) 「手洗い等の手指衛生」 (5) 「換気」

2 学校生活においてマスクの着用が不要な場面について

- (1) 十分な身体的距離が確保できる場合（2m以上を目安）
 - （屋外の例）外遊び、登下校 ※近接距離（2m未満）で会話する場合はマスクを着用
 - （屋内の例）図書室や特別教室等での読書や、調べたり考えたりする場面
 - ※ 教室では身体的距離を確保することが困難なため、マスク着用を基本としますが、身体的距離が保てる場合やマスクによる体調不良時には外すように指導します。
- (2) 体育の授業（運動場・体育館 共に）
 - （例）十分な身体的距離をとり会話のない運動・活動（教師が指導・管理します）
 - ※ 十分な身体的距離がとれない状況で、十分な呼吸ができなくなるリスクや熱中症になるリスクがない場合には、マスクを着用する。
 - ※ 運動部活動は体育の授業に準じ各競技団体が作成するガイドライン等も踏まえる。
- (3) 気温・湿度や暑さ指数（WBGT）が高い日、健康被害が発生する恐れがある場合
 - ※ 測定値と県や市の情報をもとに、学校が総合的に判断します。

3 その他

学校では、上記の内容および国が示す対応の考え方（裏面リーフレット参照）をもとに教育活動を行い、熱中症予防と感染対策の両立を図ってまいります。熱中症が心配される体育の学習や、屋内外で身体的距離が保つことができる場面では、マスクを外すように指導します。しかしながらマスクを外すことに抵抗があるお子様もいますので、一律的な指導ができないことをご理解いただきますようお願いいたします。

【参考資料】「マスク着用の考え方及び就学前児の取扱いについて（R4.5.20 厚生労働省）」参照

	身体的距離が確保できる ※2m以上を目安		身体的距離が確保できない	
	屋内	屋外	屋内 ※教室等	屋外
会話を行う	着用を推奨する	着用の必要はない	着用を推奨する	着用を推奨する
会話をほとんど行わない	着用の必要はない	着用の必要はない	着用を推奨する	着用の必要はない

■ 問い合わせ

大野城市教育委員会教育支援課 092-501-2211（代表）

子どものマスク着用について



人との距離（2m以上を目安）が確保できる場合
においては、マスクを着用する必要はありません。
また、就学前のお子さんについては、
マスク着用を一律には求めています。



就学児について

（小学校から高校段階）

マスク着用の必要がない場面

屋外

- ・人との距離が確保できる場合
- ・人との距離が確保できなくても、
会話をほとんど行わないような場合

＜例＞離れて行う運動や移動、

鬼ごっこなど密にならない外遊び

＜例＞屋外で行う教育活動（自然観察・写生活動等）

屋内

- ・人との距離が確保でき、
会話をほとんど行わないような場合

＜例＞個人で行う読書や調べたり考えたりする学習

学校生活

屋外の運動場に限らず、

プールや屋内の体育館等を含め、体育の授業や運動部活動、登下校の際

※運動部活動において接触を伴う活動を行う場合には、各競技団体が作成するガイドライン等を確認しましょう

※活動中以外の練習場所や更衣室等、食事や集団での移動を行う場合は、状況に応じて、マスク着用を含めた感染対策を徹底しましょう

高齢の方と会う時や病院に行く時は、マスクを着用しましょう。

保育所・認定こども園・幼稚園等の 就学前児について

2歳未満

マスクの着用は推奨しません。

2歳以上の就学前の子ども

他者との距離にかかわらず、マスク着用を一律には求めて
いません。マスクを着用する場合は、保護者や周りの
大人が子どもの体調に十分注意した上で着用しましょう。

気をつける ポイント

▶ 夏場は、熱中症防止の観点から、マスクが必要ない場面では、
マスクを外すことを推奨します。

▶ マスクを着用しない場合であっても引き続き、手洗い、
「密」の回避等の基本的な感染対策を継続しましょう。

※その他地域の状況に応じて、講じられている対策がある場合、それを踏まえ対応をお願いします。

